

自ら学ぶ生徒
思いやりのある生徒
健康で働く生徒

師弟一如

稲田中学校だより NO. 19
平成 29 年 2 月 15 日
発行人 校長 八木沼孝夫

県立 I 期選抜 26 名内定

2月7日(火)に県立高校 I 期選抜の内定通知が発表になり、本校では 26 名の内定者が確定しました。また私立高校入学予定者を含めて 31 名の生徒の進路が確定したことになります。

この結果は、ほぼ例年同様でした。しかし郡山や白河方面の 2 倍の倍率を超える高校・学科での合格がみられるなど、素晴らしい結果だったと思います。

高校入試も残すところ、県立 II 期選抜と私立高校 1 校に 8 名の生徒が受験をします。

3 学年の先生方からも指導はされていると思いますが、「入試は団体戦」です。進路が確定した人たちは、これから受験する人のためにも、学年の雰囲気や励ましを良くしたり、励ましたりするなど様々な面でサポートをしてほしいと思います。

県立高校 I 期選抜内定者	9 校	16 学科	26 名
私立高校入学予定者	5 校	5 学科	6 名
県立高校 II 期選抜受験者	6 校	6 学科	7 名
私立高校専願受験者	1 校	1 学科	1 名

新入生オリエンテーション・保護者説明会

2月8日(水)に、来年度入学する小学 6 年生に向けて、新入生オリエンテーションと保護者説明会を開催しました。

児童向けオリエンテーションでは、初めに角田先生と A L T のミミ先生による英語の授業を行い、その後、生徒会役員がパワーポイントを使って、中学校生活や学習について、小学生に向かって説明しました。

それと並行して新入生保護者会も実施しました。新入生保護者会では、前半を「学校説明会」として本校からの説明を、後半は「思春期子育て講座教育講演会」を行いました。講師に西袋公民館の生涯学習インストラクターである大柿重子様をお招きし、グループ討議などを行いながら子育てについて講演をしていただきました。忙しい中、ありがとうございました。



英語の授業を体験



生徒会役員が中学校生活を説明



保護者の話し合い

平成29年度の教育課程編成中①

現在本校では、平成 29 年度の教育課程の編成作業をしております。1 月から全体会や各委員会で話し合いをもち、今年度の反省と改善点、平成 29 年度に向けての基本方針などを明らかにして、よりよい教育活動を行い、教育目標の具現化を目指しております。

来年度は以下の点に重点を置いて教育活動を行います。(2 回に分けて掲載します。)

1 小中一貫教育の推進

□ 従来の取組に対する検証・改善及びさらなる推進

- ① 従来の小中一貫教育事業の検証作業
- ② 9 カ年の系統性・継続性を踏まえた教育課程及び教育計画の作成
- ③ 通年型相互乗り入れ授業と日課表の統一

□ 保護者・地域との連携

- ① 小中 P T A、学校評議員会の統一
- ② 地域運営協議会の開催
- ③ 「学校だより」、「小中一貫教育ニュース」「リーフレット」等による情報発信

□ 市教育委員会稲田小中一貫校開設準備室との連携

- ① 開校にむけての諸行事等の連絡調整
- ② シンボルマーク、愛唱歌等の選定

2 授業改善による学力向上

□ 自ら学ぶ態度の育成

- ① 「学習の手引き」や「授業の心得」による学習ガイダンス
- ② 家庭学習の記録点検と意欲的かつ的確な支援
- ③ 漢字検定、数学検定、英語検定の奨励

□ 基礎的・基本的な知識技能の徹底習得

- ① 基礎学力コンテストの実施(漢字・計算・英単語)
- ② 定期テスト前の補充学習の実施

□ アクティブラーニングの導入

- ① 主体的・協同的学習の場の設定と実践の継続
- ② コミュニケーション能力の育成
- ③ 学校図書館教育の推進 学校司書の活用

□ 個別学習の充実

- ① 放課後、長期休業等における個別指導の充実
- ② 特別な支援を要する生徒への支援体制の確立

□ 教職員の指導力向上

- ① 「わかるできる授業」の実践
- ② 校内研修の充実
一人一授業研究、小学校との連携
- ④ 岩・中教研等校外研修への積極的参加
- ⑤ 市教育研修センターとの連携
- ⑥ 管理職による若手講師への継続的支援

いじめ根絶に向けた取組について

新聞報道等でご存知かと思いますが、過日市内中学1年生が自ら命を絶つという痛ましい事案がありました。亡くなられた生徒さんのご冥福とご遺族の方に哀悼の意を表します。

この事案は児童生徒への教育に携わる教育関係者はもとより、多くの方々に大きな衝撃を与えました。本校でも、市教育委員会の指導及び通知を受けて、これまでのいじめ根絶に対する取組への再点検を行うとともに、いじめとして認識して対応してきた事案について、本人及び保護者と確認をさせていただきました。またこれまでも毎月いじめ等に関するアンケートを行ったり、道徳の時間や学級活動の時間などを使って、いじめ根絶に向けて取組を行ったりしてきていますが、次の3点について再度重点的に取り組んでまいります。

- 1 いじめの未然防止について
 - ・ 学校いじめ防止基本方針を再確認するとともに、いじめの生まない土壌をつくります。
- 2 いじめの早期発見について
 - ・ 生徒や保護者の訴えをきちんと受け止め、速やかに対応してまいります。
- 3 いじめへの早期対応とその後の状況確認について
 - ・ 問題を軽視せず、学校全体で組織的に対応します。
 - ・ 解消判断を行う際は、本人及び保護者と連携を図りながら慎重に行います。
 - ・ 詳しい状況を保護者へ丁寧に報告します。

近年、自殺者全体の数が減少する一方で、児童生徒が自ら命を絶ってしまうケースが全国的に増加していると言われております。平成27年には349人の児童生徒が自ら命を絶てしまいました。

(内閣府・警察庁調べ)しかしその原因は、年齢や性別などによってさまざまであり、勉強や友人関係だけではなく、家庭の問題や将来に対する不安など複合的に絡み合っているとされています。

しかし、どんな状況であろうと、学校や家庭、地域などの身近にいる大人が、子ども達の変調や心のSOSを見逃すことなくキャッチして、積極的に手を差し伸べることが必要です。

本校でも、教職員の生徒観察力を高めるとともに、生徒が気軽に相談しやすい雰囲気づくりや良好な人間関係を築けるよう努力しておりますが、ご家庭でも何か気になることがありましたら、お気軽にご相談下さいませようお願い申し上げます。



ユネスコ世界寺子屋運動募金

3学期になって、学習環境委員会が中心となって「ユネスコ世界寺子屋運動」の募金と書き損じはがき回収を行っていましたが、先日「須賀川地方ユネスコ協会」に届けました。

募金は12,107円、書き損じはがきは63枚集まりました。ご協力ありがとうございました。

小中一貫教育コーナー

○千葉加茂学園・埼玉城山学園視察

2月13日(月)・14日(火)の2日間、小中一貫教育の先進校視察を行ってまいりました。視察先は、千葉県市原市立加茂学園と埼玉県坂戸市立城山学園です。両校とも稲田小中学校とほぼ同程度の学校規模であり、加茂学園が平成25年度から、城山学園は平成27年度から施設一体型小中一貫校として取り組んでいました。

小中一貫の説明や施設見学をさせていただいて大変勉強になりました。今後の本校の小中一貫教育に生かしてまいりたいと思います。



加茂学園の児童たち

○新校舎建設工事のようす

昨年の8月から始まった稲田小中一貫校の校舎建設工事ですが、順調に進んでいるようです。

1月中旬の降雪の影響もありましたが、作業員の方々の懸命な作業により解消され、現在は1階部分の柱・壁・梁の型枠工事と多目的ホールの屋根と柱の鉄骨工事が行われています。

次第に校舎の形が現れて、新しい校舎への期待が高まりつつあります。

作業員の皆さん、寒い中の作業ご苦労様です。



東側(左)と西側(右)から見た工事現場

ふくしまを17字で奏でよう 絆ふれあい支援事業作品紹介

○県奨励賞

佐藤玲菜 取り戻せ 友の笑顔を 今ここに
弟 優成 震災で なくした絆 取り戻そう

○県二次審査選考作品

本馬拓実 花火より 屋台で買い物 夏祭り
母 道子 花火散る 財布の中も すぐに散る

○県二次審査選考作品

有賀航太 背比べ 今年の夏で 終わりかな
父 弘幸 見上げれば 若き自分と ふりふたつ



ユネスコ募金の贈呈→



稲田中学校ホーム http://www.sukagawa.gr.fks.ed.jp/?page_id=202

←左QRコードからもご覧になれます。